

授業科目

言語聴覚障害概論

担当教員名 山岸 達弥、今村 徹、佐藤 克郎、今井 信行、吉岡 豊、渡辺 時生、栗崎 由貴子、 内山 信、石本 豪、桑原 桂、大石 如香、西尾 正輝 他	対象学年	1	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎				

授業の概要

言語聴覚障害学の概要、発展の歴史、臨床業務内容そして言語聴覚士法などについて理解し、専門分野ごとにオムニバス形式にて各論学習のための導入に必要な基礎知識を学ぶ。

授業の目的

言語聴覚士の義務と責任に関する基本的知識、態度および考え方を身に付けるため、言語聴覚障害学の概要、発展の歴史、臨床業務内容そして言語聴覚士法などについて概観し、専門課程における各論学習のための導入として必要な基礎知識を学ぶことを目的とする。

学習目標

1. 言語聴覚障害学の発展の歴史と現状を概説できる
2. 言語聴覚士の業務内容、職場の多様性および職業倫理について概説できる
3. 言語聴覚士法の成立までの経緯を知り、法の内容を説明できる
4. 言語聴覚士が対象とする各領域を列挙しその概要を説明できる

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	言語聴覚障害とは：種類と定義および歴史	講義	山岸 達弥
2	言語聴覚士の仕事と職場、言語聴覚士法の内容と成立過程	講義	渡辺 時生
3	医療の法と倫理	講義	今村 徹
4	高次脳機能障害	講義	今村 徹
5	成人発声発語障害	講義	西尾 正輝
6	言語の発達と心理的側面	講義	石本 豪
7	小児の言語障害とその関連領域	講義	山岸 達弥
8	言語の発達とその障害	講義	渡辺 時生
9	成人の言語障害とその関連領域	講義	内山 信
10	聴覚系の構造と機能	講義	佐藤 克郎
11	言語聴覚士の活動（評価・診断、訓練等）	講義	栗崎 由貴子
12	聴覚障害学の歴史	講義	桑原 桂
13	聴覚と発話の関係	講義	吉岡 豊
14	摂食嚥下障害と口腔ケア	講義	今井 信行
15	言語聴覚障害の臨床～臨床業務の流れ～	講義	大石 如香

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	標準言語聴覚障害学 言語聴覚障害学概論	藤田郁代編	医学書院	2010年	5,000円+税	
参考書						
その他の資料						

評価方法

定期試験により評価する。

履修上の留意点

開講日時は変則的になるので、日程は追って掲示する。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：火曜日 12:00～13:00

連絡先：yamagisi@nuhw.ac.jp